

「喜多方市に来て
良かった」と思える
理想の環境。



せきね りゅうじ
関根 竜司さん(30代)
かとう だいき
加藤 大貴さん(20代)

<喜多方市>
ゲストハウス経営
(起業)
2021年 Iターン

探し求めた地は喜多方だった

『喜多方市は会津盆地の北側に位置する商人の町です。商売繁盛した証に座敷蔵、店蔵など蔵のある家が多くあり、町の風景を特有のものにしています。今では蔵をリノベーションした飲食店やワーキングスペースなどにも利用法が広がっており、蔵のある風景を残そうとしています。』

東京都生まれの関根さんは世界一周をした経験があり、埼玉県生まれの加藤さんはフィリピンに在住した経験もあるお二人ですが、この喜多方市を「理想の地」と言います。喜多方市に移住するきっかけ、理想の地という理由、地域で仕事するという事などを、経営するゲストハウス「おとまり」にお伺い取材しました。』

取材日 2022年9月29日

移住のきっかけとゲストハウス

<移住のきっかけ>

最初のきっかけは私(関根さん)が古民家でお店をやりたい、というところからです。一緒に仕事するなら波長が合う人がいいじゃないですか。まず、思い浮かんだのが大貴くん、声をかけました。一緒に始めることになり、関東周辺の古民家を探したのですが、貸し手はなし。そういえば喜多方市に祖父が住んでいた家があるな、と思い出し「喜多方市では遠い？」と相談したら「全然！」と(笑) 私の母と叔母たちの許可を得て改装しました。水道管の手直しや窓の修理、壁も塗りました。世界一周するお金を貯めるために働いていたペンキ屋さんでのスキルが活かされました！

<喜多方市での仕事>

食事を出さないタイプのゲストハウスをしています。喜多方市の良さは人です。また喜多方に来たいと思ってもらえるように食事は外に出してもらい、お店の人や地域の人と交流する時間にもなっています。

私(加藤さん)が、町の人にお薦めのお店や歴史などを聞いて自分で行ってみて、お客様に情報還元をしています。まだ喜多方市に移住して2年目ですが、喜多方市が面白くて結構詳しくなりました。まだまだ奥が深いのでもっと興味を持って聴いていくつもりです。

私(関根さん)は古民家に手をかける仕事もあり、モノを作ったり、塗ったりしています。壁は美術系の友人に



塗ってもらったり自分で塗ったりしています。明るい色の中に入ると人間って明るくなるんです。ここに来て悩むようなことはない、と伝えたいです。

うちはゲストハウスなので空間の提供が仕事になります。その基本はたった3つ、「笑顔」と「自分から話しかけること」と「清掃」です。空間を提供するだけでなく、楽しい時間を提供することで対価をいただくということですね。

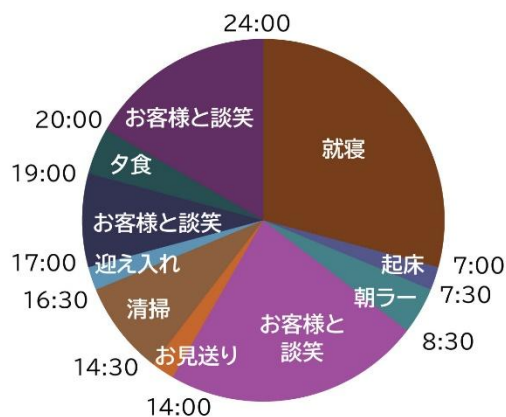
<喜多方市の魅力>

私(関根さん)は東京都で生まれ育ちましたが、20歳の時に自転車で日本一周したことで旅の中で国語・算数・理科・社会の勉強が出来ることに気づきました。社会人になってからは3年半ほど仕事をしながら世界を周り、人の本質を知りました。

喜多方市に住んで感じたのは、喜多方のスゴさです。まず、うちの周りの人がいい人ばかり！例えば、家の片づけをしていたら、道具を貸してくれたり、隣接の空き家を貸してくれたり、まるで海外の田舎のような距離感です。海外にいた時に感じた、人の近さや人と人がお互い支えあって生きる本質的な関わり方が、なんとここにそのままあったのです。喜多方市いいじゃ



ある一日のスケジュール



ん！って思いました(笑)

もう一つの良さは自然の近さです。好きなのが雄国沼下の恋人坂ですね。そこから見る風景は田んぼがパノラマに広がる他にない景色ですし、特に夕日が落ちる時間帯はスゴイです。なんなら今日も見に行きたいくらいです(笑) 星空もいいですよ。ここは喜多方駅から歩いて10分ほどの距離ですが、うちの屋根の上からでも星空が見えるんです。星を見ながら、みんな「今日はこんなこと出来てよかったよね～」とか話をする時間はかけがえのない時間です。

あと、私や大貴くんが感じているのは、近所の人や地域の人たちと話をしているうちに自分たちの町をこうしたい、こうすれば良くなるって自然に町の将来の話になることです。地域の誰に会っても、ですよ。思っているだけでなく、言葉に出す人が多いのってすごいと思うんです。近所のおばあちゃんも結構いいこと言いますよ(笑)これは元々、町をみんなで作ってきたという歴史と新参者を受け入れる気質が地域にあるのだと思います。これから来る人も喜多方市は楽しいと思いますよ。仲良くなるといういろいろ相談にも乗ってくれますし、相談もされます。この人らしいつながりが最高だと思っています。

ゲストハウスに遊びにきてくれれば、喜多方の良さを伝えられる自信はあります。だって、自分たちがこの場所を日本の中で一番いいと思っていますから。

関根さん・加藤さんの行動歴

関根さん 東京都生まれ ⇒ 東京都(専門学校)
⇒ 日本一周 ⇒ 東京都(就職) ⇒ 世界一周
⇒ 東京都 ⇒ 喜多方へ
加藤さん 埼玉県生まれ ⇒ 東京都(専門学校)
⇒ フィリピン ⇒ 埼玉県 ⇒ 喜多方へ

移住を検討している方にアドバイス

地域の人に自分から話しかけること。
相談されたら一生懸命応えること。



現住人口 43,706人 男性/21,017人 女性/22,689人

面積 554.63平方キロメートル

標高 海拔 210.8m(喜多方市役所)

最寄駅 JR磐越西線「喜多方駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津若松IC」

保・幼・こ 認可保育所 10か所 幼稚園 2園 認定こども園 11園

小学校数 公立 17校

中学校数 公立 7校

高校数 公立 3校

病院数 病院 6か所 診療所 17か所 歯科 22か所

市の特徴 会津盆地の一番北側に位置し、北西には飯豊連峰、東には名峰磐梯山の頂を望む雄国山麓が裾野を広げ、南は阿賀川が流れる豊かな自然に恵まれている地域である。日本三大ラーメンの喜多方ラーメンが有名で、現在でも100店舗近くがある。山間部の山都地区は蕎麦が名産で、そば祭りには県内外から多くの人を訪れる。

移住サポート窓口 喜多方市役所(地域振興課)
喜多方市ホームページ
<https://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/iju-info/>
電話:0241-24-5306
メール:chiiki@city.kitakata.fukushima.jp

